

近代量子力学を応用した

量子エネルギーの発生器

「携帯型量子発生器」

何千年もの間、人類の健康を苦しめてきた

目に見えない4次元の有害な環境エネルギーから

遂に人類を開放！



携帯型量子発生器 THP-05 型

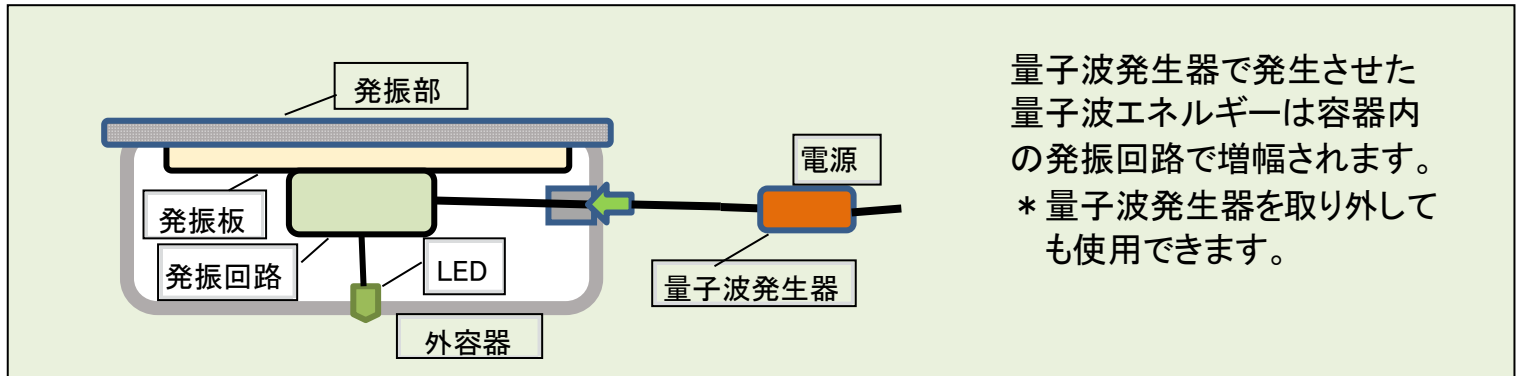
■ システムの原理

宇宙空間や宇宙に存在するすべての生命は、近代量子物理学の発達によって、原子で構成されている目に見える物質体(肉体)と、ニュートリノやクォークという超微粒子の量子で構成されている目に見えないエネルギー体(量子体)との二重構造になっていることが確認されてきました。同様に人もまた肉体と量子体の二重構造になっています。

肉体という物質は、有害な環境エネルギーの影響で身体環境のバランスが崩れます。量子体も4次元の悪いエネルギーの影響を受け、その結果、肉体の気の流れを乱し、身体本来の力を損ないます。

従って、ある種の量子波エネルギーを肉体や量子体に照射し共振させて修正し、体や量子体の気の流れの乱れや滞りを調整することは、体の本来の働きのために大切になります。

■ 構造



■ 使用目的

1. (気の調整) 人体に発振部を接触させることによって、量子体を修正し、気の流れの調整による癒しを与えます。

2. (物質の品質改善) 食品・水などの物質のエネルギーを改善することが可能です。

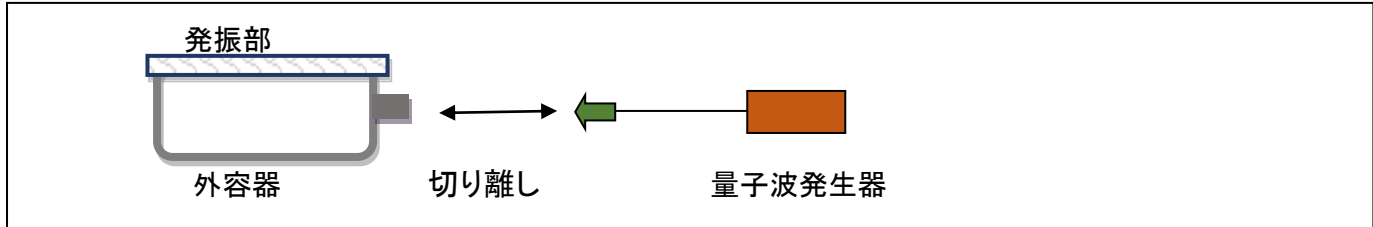
また衣類や装飾品、めがね、ベルト、寝具等の物質を本器に20~30秒間程度接触させて有害な環境エネルギーが除去できます。

(※人体や物質が有害な環境エネルギーの影響を受けていると、気の調整エネルギーや品質改善エネルギー等が共振しにくいので、様々な量子エネルギーを有効活用するには、有害な環境エネルギーを除去することは重要です。)

注: 本器は直接病気を治療する装置ではありません。気の調整または気の流れを綺麗にすること以外の目的に使用しないでください。

■本器の使用法

1. 本器の発振部(白い樹脂の面)を人体や食品、物質に直接接触することによって「気の流れの調整による癒し」、「物質のエネルギー改善」ができますが、照射時間や対象物によって感じ方には個人差があります。
2. 本器の発振部が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
3. 外容器を量子波発生器から取り離しても、十分使用可能です。



■本器の仕様

項目	仕様	項目	仕様
量子波発生器入力	AC110V 50~60Hz 1W	発振部材質	HIPS樹脂
発振板出力	DC5V 0.5W	外容器サイズ・重量	112×76×27 mm・75g
使用目的	気の流れの調整、有害な環境エネルギーの除去、物質のエネルギー改善		
無償保証期間	お買い上げより、外容器 1 年間 ・ 量子波発生器 6 ヶ月		

※本器は薬事法に基づく「医療機器」ではありません。

ケーブルを強く引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、ケーブルを抜き差しする際は、根元部分に力が加わらないようにしてください。断線の原因となります。

開発元 一般財団法人 日本量子研究財団
製造元 **NEI** 新エネルギー産業株式会社
〒531-0071 大阪市北区中津 3 丁目 29 番 35 号
TEL:06-6940-6021 FAX:06-6485-2025

販売店